クラス	TU301	担当教員	赤石憲昭
テーマ	人間理解を深めるための「哲学」と「こども哲学」		
著書･論文 研究課題等	「現代日本における承認問題：ホネットの承認論とその展開」 『社会文化研究』第 20 号、晃洋書房、2018 年、7−33 頁 「スマホをやりすぎると人間になれない!？スマホ世代の人間観と承認をめぐる問題」 『共に生きる場を拓く：私たちの「仕合わせ」づくり』一粒書房、2019 年、37-59 頁 「ホネットの承認論と社会福祉：『社会福祉の原理』と『人間の尊厳』の実現について」 『唯物論研究』第 150 号、2020 年、90-102 頁 「現代における「人間の問い」の意義：真下信一とマルクス・ガブリエルの哲学」 『現代と文化』第 142 号、2021 年、31-62 頁 研究課題：「人間のあるべき姿」の探求（ヘーゲル哲学、批判的社会理論）		

ゼ ミ ナ ー ル 概 要

キーワード：人間・真理・自由・愛・承認・こども哲学

『ちいさな哲学者たち』という映画をご覧になったことはあるでしょうか？

この映画は、フランスのある幼稚園で、3 歳から 5 歳のこどもたちと行われた哲学対話の様子を記録したものです。実際に観てみると、小さな子どもたちが、「愛とは何か」「賢いとはどのようなことか」などの哲学的問いについて、自分の考えを言い合っている様子にとても驚かされます。このような哲学対話の取り組みは、海外では広く行なわれています。日本でも、一部の保育園や幼稚園、小学校や中学校・高校において、すでに実践がなされています。また、**「主体的・対話的で深い学び」、「考え、議論する道徳」の教科化、新科目「公共」の創設などの教育をめぐる新しい動向のもと、「こども哲学」の取り組みがあらためて注目されています。**

本ゼミは、このような最近の動向を視野に入れながら、**3 年次には、「こども哲学」を一つの共通テーマ**として、それがどのようなものであるかを学習し、また、自分たちでも実際に行なってみて、最終的には各自がさまざまな場面で実践できるようになることを目指します。**あらゆる人間の活動や教育・福祉の基礎となる人間の理解を深めるために、平易な哲学のテキストの講読**も行いながら、「人間」「自由」「愛」「幸福」「教育」といった、人間が人間らしく生きていこうとした場合に直面する重要な問題についてみんなで考えていきます。

4 年次には、卒業研究作成に重点を移します。3 年次の幅広い人間理解も踏まえ、**自分が大学での学びの総決算として本当に明らかにしたいテーマを探求**してもらいます。研究のテーマは自由に選んで頂いて構いません。

◎使用テキスト

・真下信一『自由と愛と：現代を生きる人間の哲学』（復刊）、名古屋哲学セミナー、2021 年（ゼミ費で購入）

◎参考図書

・真下信一『君たちは人間だ』新日本出版社、1983 年

・河野哲也『じぶんで考えじぶんで話せる：こどもを育てる哲学レッスン』河出書房新社、2018 年

・こども哲学 おとな哲学 アーダコーダ『こども哲学ハンドブック』アルパカ、2019 年

・土屋陽介『僕らの世界を作り変える哲学の授業』青春新書、2019 年

担当教員からのメッセージ

今回取り上げる「こども哲学」は、何の予備知識もいらないことを一つのウリにしているものではありますが、ゼミ選択は、担当教員との相性もあると思います。担当教員の授業をすでに受講したことのある人（哲学概論等）や、世界シリーズの授業のように一つの分野の学びにあきたらない好奇心旺盛な人、そして担当教員のように「**品のある人**」を歓迎します。「こども哲学」は今後ますます注目されてくると思いますので、この機会にぜひ学習して、教育の現場等で活かしてください！